

從來、本聯合會が絶対支持してゐた社会民主党は、無産政黨戦線統一問題に關して所謂「国家社会主義派」と「反主義派」との内部対立を激化し、腐蝕がアフリカへ轉落した国家社会主義派を清算した。フアフレヨの群は日本国家社会主義を組織し、その傘下へ集つた本聯合會加盟の一部は直ちに除名處分に附せられ、フアフレヨの腐蝕員共は該員辭職勧告決議を本聯合會の名を以てせられた。既にフアフレヨの本質は露々然明してゐたが、最近に至つて、フアフレヨは流行性の国家（国民の名を看板にし、社会主義を詐称する資本主義の傀儡である本質を愈々露骨に社会的に暴露せしめ、その地力不頼的暴力革命詠歌の派手振りで枯影悄然として既に消滅し、サレてゐるが當然の帰結と稱す可くであらう。

フアフレヨ派を清算した社会民主党は、全国労働大衆黨へ合同を提唱し、去る七月二十四日、兩黨統一した合同強力新無産政黨社会大衆黨は結成され、合同盟中央委員會は単一無産政黨社会大衆黨を支持することを決定した。旧労働大衆の浅原君一派は社会大衆黨結成以前より敵対し、直つて指導精神を相異と唱えて兩黨合同絶対反対を表明、決議してゐたので、福岡縣地方に於ける社会大衆兩黨の合同は實現不可能として、止むをく社会大衆黨へ単独改組した旧社会大衆の福岡縣支部聯合會と本聯合會は支持することを決定した。

反共産、反フアフレヨは合同盟現実主義の本領である。政治闘争の戦野で從來、大膽に共産黨と相立した我々は更に大鏡に、果敢にフアフレヨと相対し、徹底的の克服までは決死的に戦ひぬ。

口、選挙闘争

衆議院議員選挙（昭和七年二月二十日施行）

非常時日本に衆議院に絶対多数の議席を擁してゐた民政黨は根本的に破壊され、此に国民生活と再建を指導する実力と自信を失墜し、安達謙藏君一派の協力内閣説破して脆ろくも崩壊した。本意は政權を捨つた大養政友會内閣の金輸出再禁止は一躍大金融資本家のドル買いで教億圓を儲けさせ、大養景気の仮面をかぶつてゐた大養恐慌は國內の活刺を不景氣と急激度で増大せしめ、独り羊飯死の劣劣階級のみならず全国民を生活窮乏のドン底へ陥れ、非常時日本の險悪なる社会情勢へ拍車を加えた。外には、満蒙の天地、銃火につまみ、國際情勢も急を告げ、未曾有の社会不安の中、議會は解散され、政友會内閣の傳統的反動の嵐を擣つて戦れたの、この衆議院議員選挙闘争であつた。

聯合會は「金權政治打破！既成政黨排撃！」、「資本主義打倒！社会主義建設」